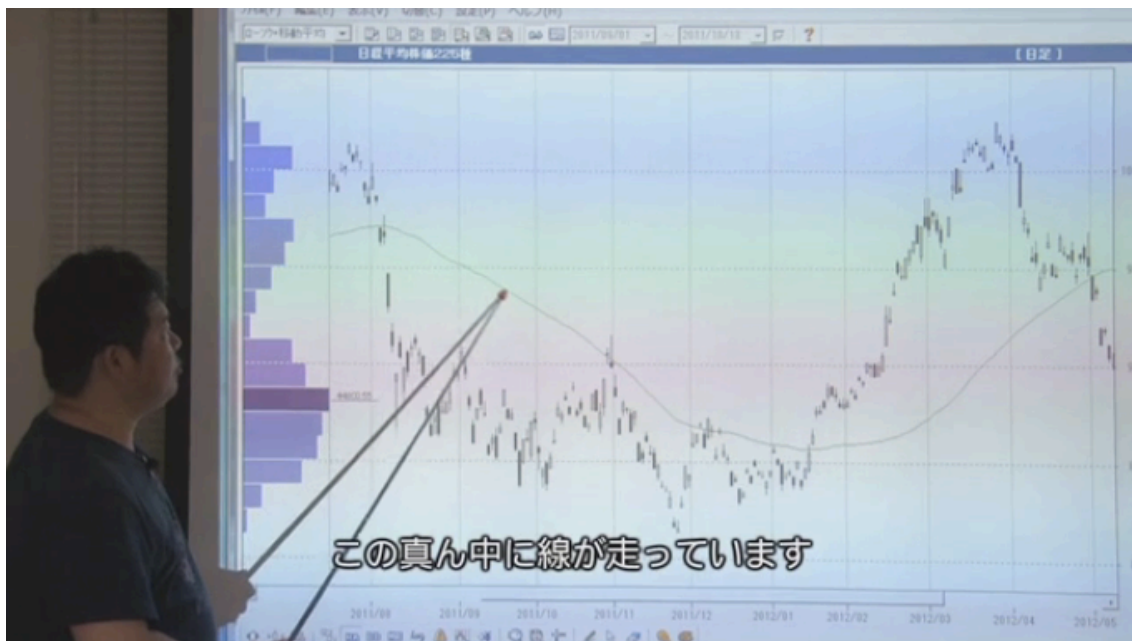


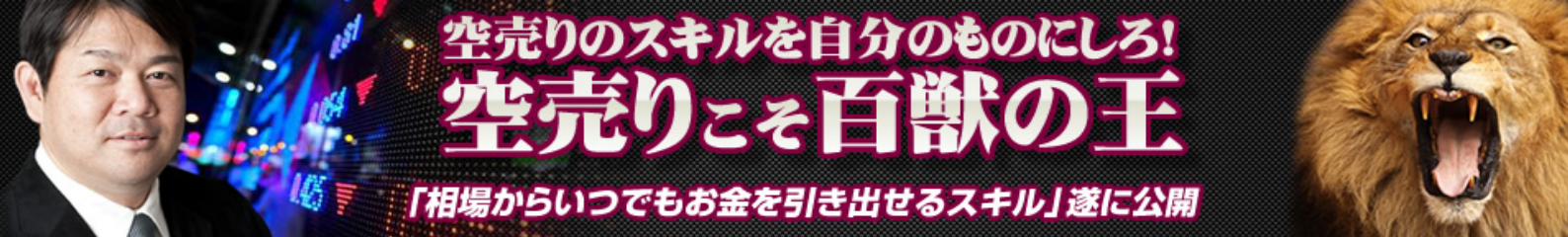
動画3 「シークレットの株価チャート公開」

【空売りのポイント】

それでは今回の動画では、空売りの技術の解説をしていきます。その前に空売りをやる上で重要なポイントがあります。それは株価の性質を知ることです。それはどういうものかという、これがチャートです。



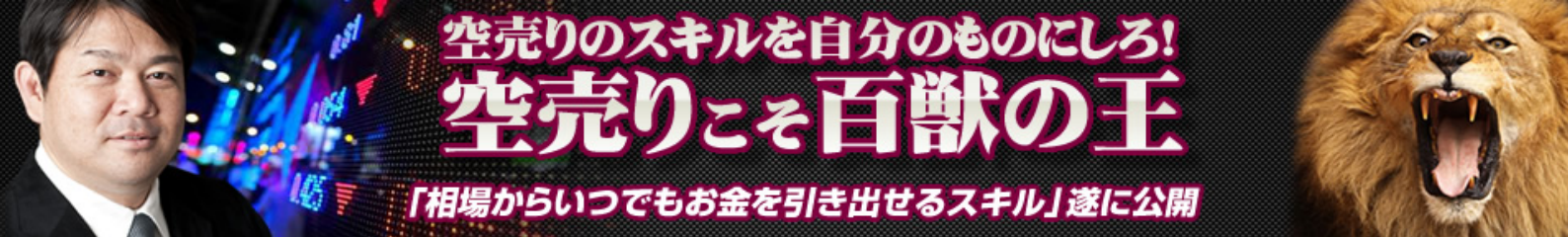
この真ん中に線が走っています。この線を「方向線（75日移動平均線）」と言います。この方向線に対して、株価はある一定の法則で動いています。それが何かと言いますと、方向線の向きに秘密があります。方向線が下向き、それから横ばいになって、そして上向きになります。



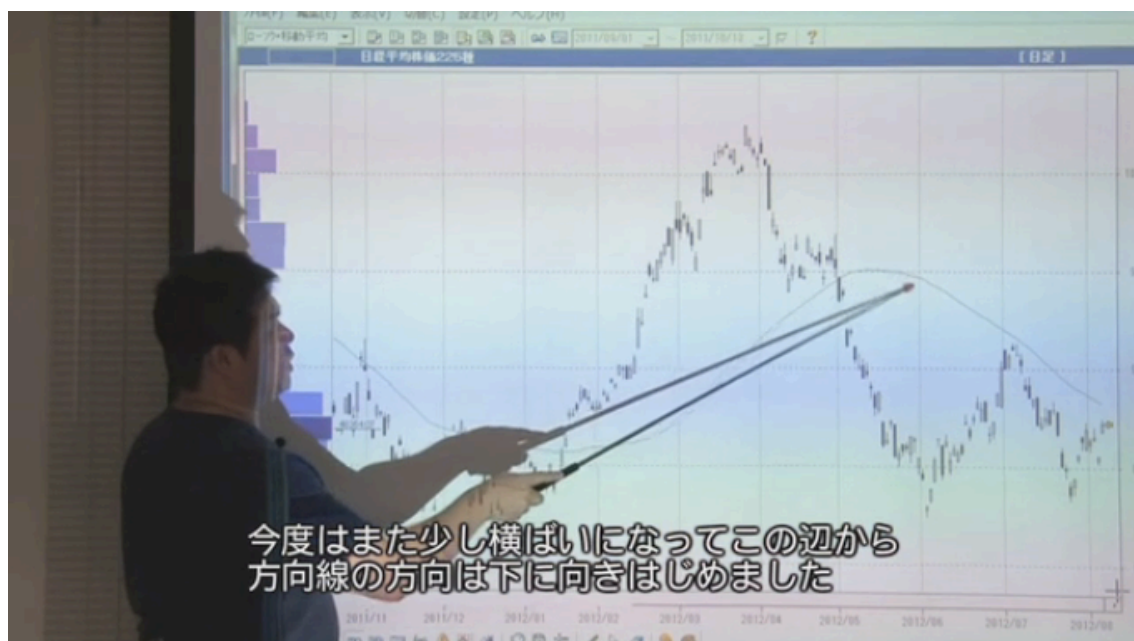
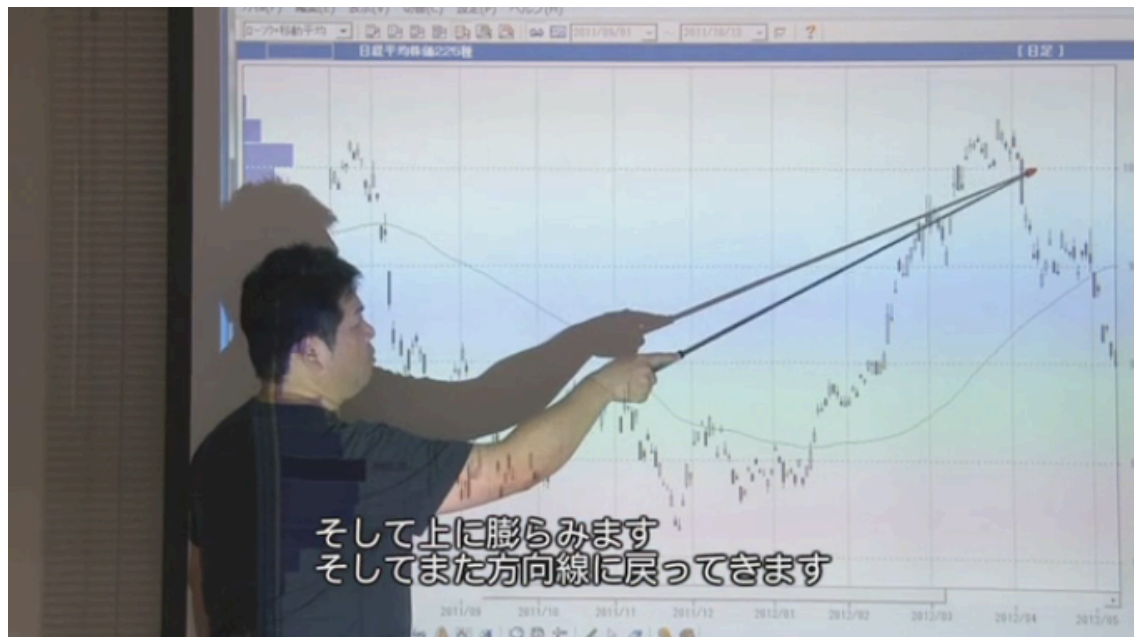
この方向線が下向きの時は、株価はこの方向線に対して下に膨らんで戻ってきます。横ばいになるに従って、そのふくらみは小さくなって、でも戻ってきます。そして下向きに膨らんで、今度は抜けました。抜けて次、下に割り込まなければ、今度は上にどんどん膨らんでいきます。そして方向線の向きがこの辺りから上昇に入ります。

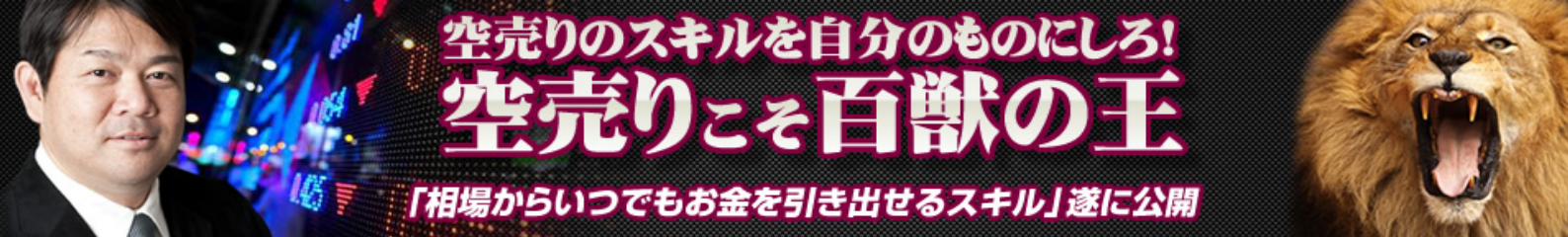


上昇に入った瞬間に大きく上昇していきます。



そして上に膨らみます。そしてまた方向線に戻ってきます。これ短期間ですが、また上に膨らんで割り込みます。割り込んだら今度は下に下がっていくと。これが株価の性質です。

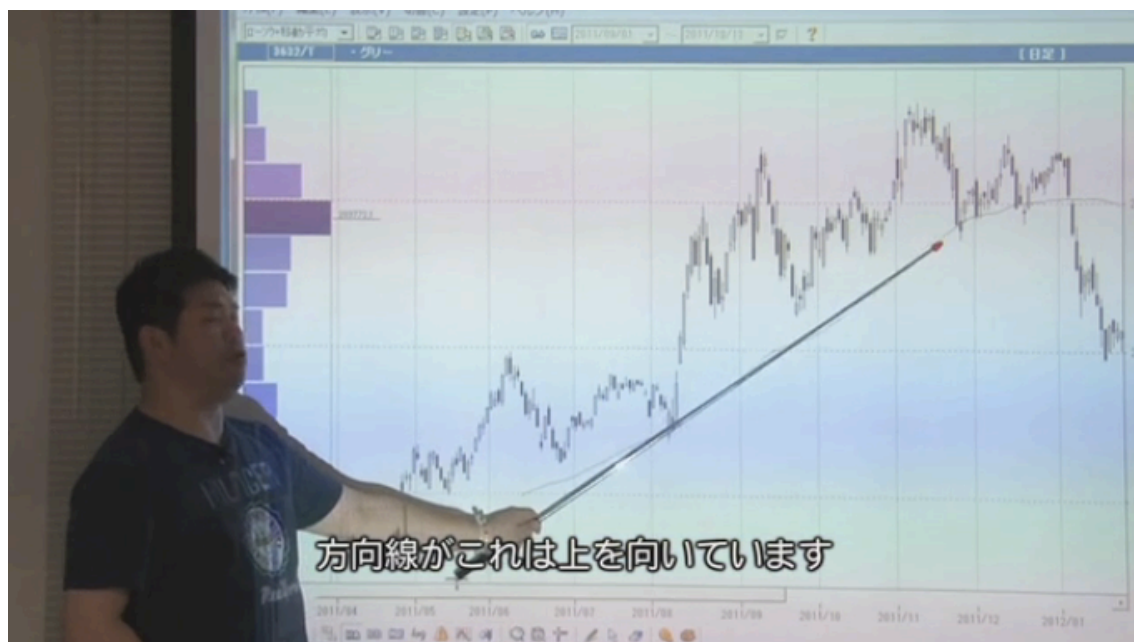




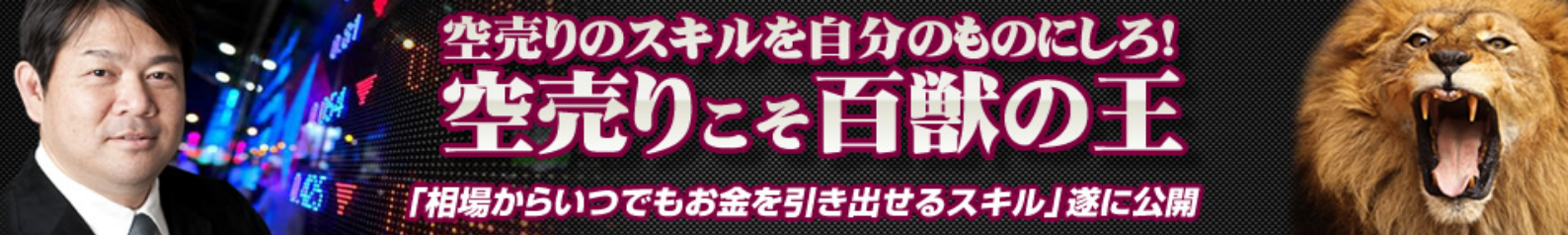
今度はまた少し横ばいになって、この辺から方向線の方法は、下に向き始めました。そうするとこれは、下に向き始めましたので、株価の場合は方向線、下向きの場合は下に膨らんで戻ってくると。また下に膨らんで戻って来ようとしてるところですね。こういう風な動きをしているんです。

要するに、なぜこれが方向線かというと、この方向、**株価の波動はこの「方向線（75日移動平均線）」に見えるわけです。**

ちょっと違う銘柄で解説してみたいと思います。これ【3632】GREEです。少し過去に振り返ってみると、上昇の局面がありました。



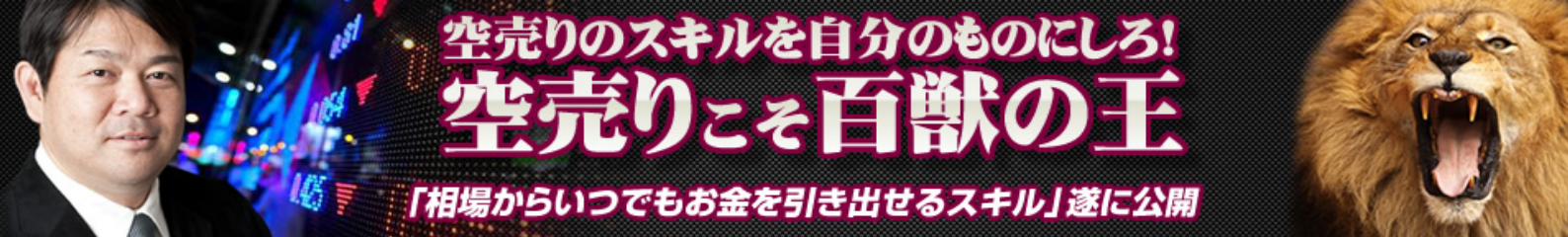
方向線がこれは上を向いています。方向線を向くと、上に膨らんで戻ってきます。そしてまた方向線は上を向いているので、上に膨らんで戻ってくると。それで少し横ばいになり始めたら、ふくらみが



小さくなって、ここでしっかり割り込んで下に膨らんでいってるわけですね。この後どうなるかということこんな風に動きます。

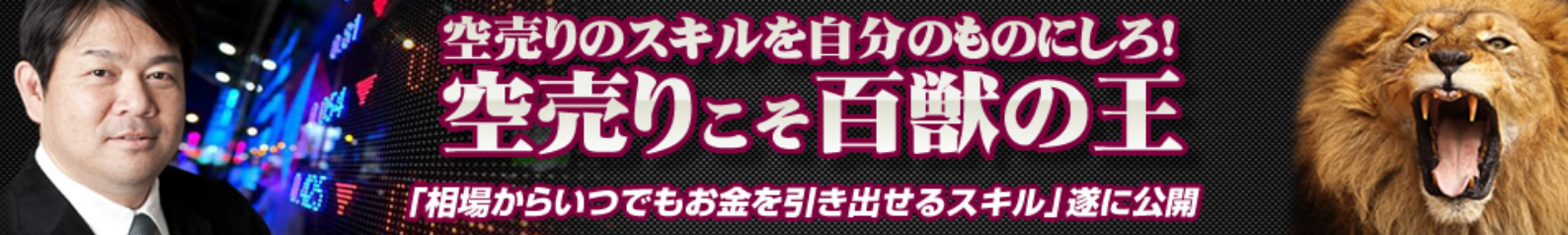


この辺は横ばいです。横ばいの時の特徴を言うと、上に膨らんだりしたに膨らんだりします。要するに方向が定まってないわけです。方向が定まってないので、上にいったり下にいったり株価はするんですね。しっかりこの辺りこの辺から方向線が下向きに綺麗になっていくと



今度は下にきっちり膨らんで、戻って来るんですよね。また大きくしたに膨らんでこう戻ってこようとしています。これ戻りきっていないですけど下に膨らんで戻ってくると、でまた下に膨らんで戻ってきます。

どこが空売りのポイントかというところですよ

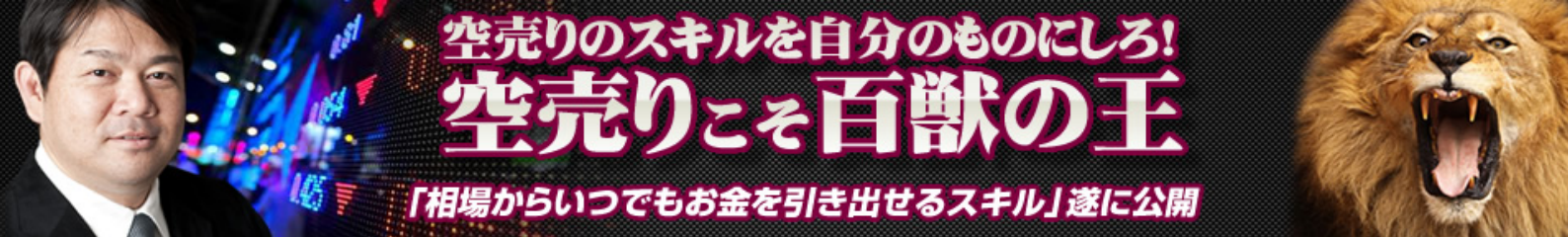


※ 詳細は動画でご確認ください。

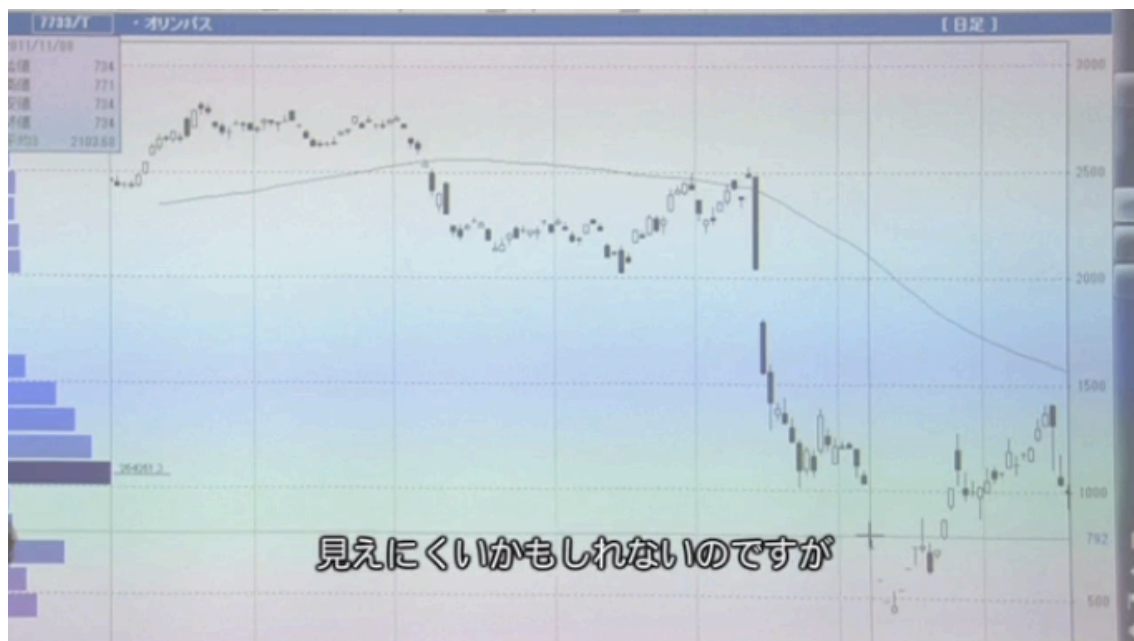
<http://www.kamex.jp/izumi.j/?p=48>

方向線の方が、しっかり下向きになって下に膨らんで戻ってきたところ。ここを空売りすればガッツと儲かるわけですね。

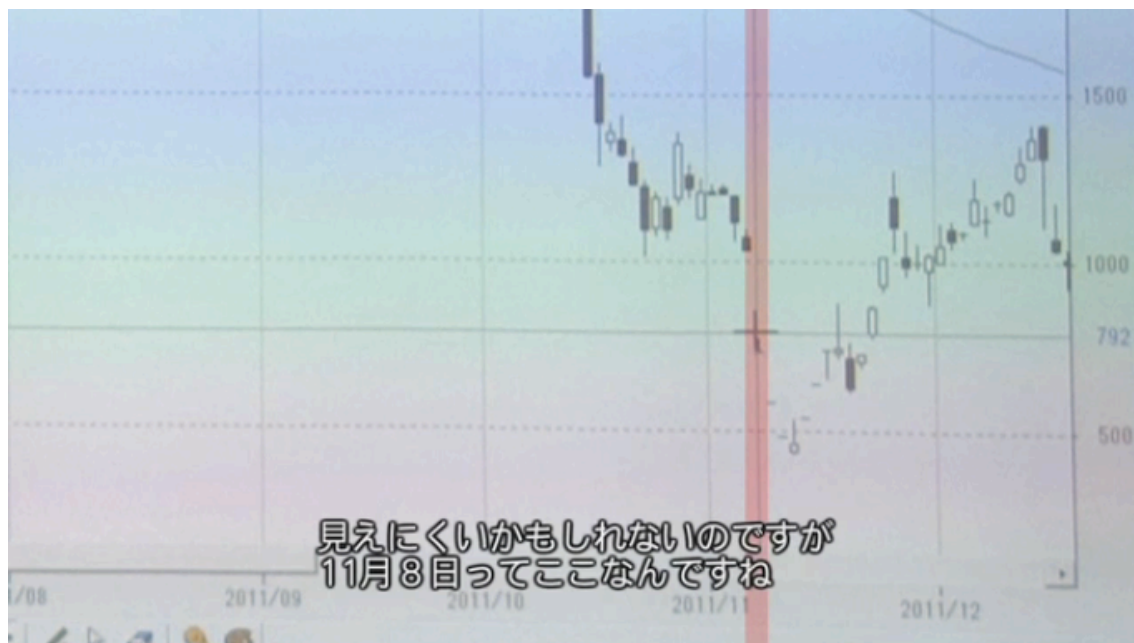
こういう風な性質がありますので、この株価の性質が分かってれば今これは空売りなのか、もしくは買いなのか、こういったところで空売りを仕掛けていくと。ここには、他にいろんな売り方ルールがあります。

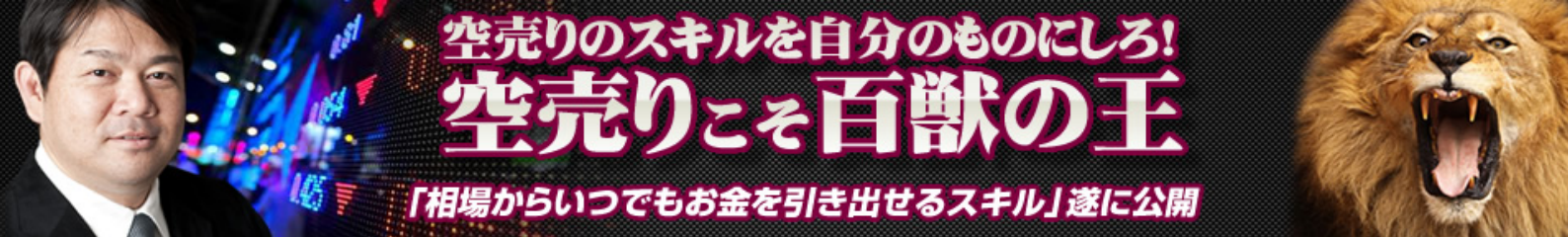


それではニュースと株価の関係です。まずこのオリンパスは損失隠し20年のつけというニュースが、2011年の11月8日に出たんですね。ちょっとチャートを見てみましょう。見えにくいかもしれませんが。



11月8日ってここなんです。



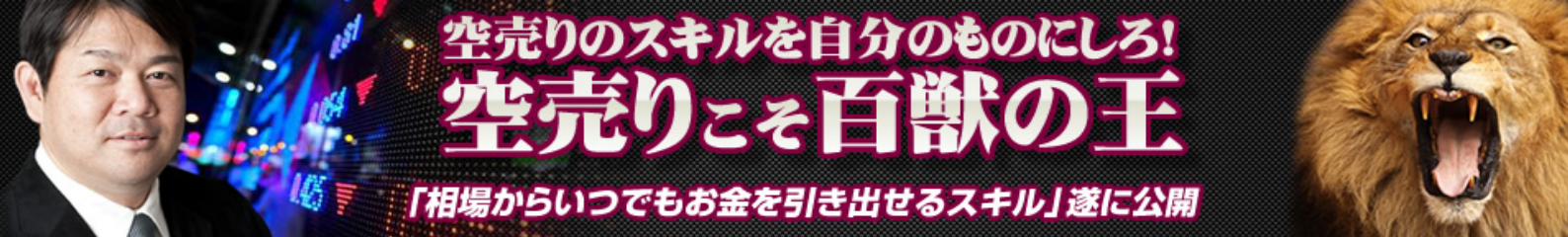


見えにくいんですけど、ストップ安になってる日。この日に損失隠しなんですよね。ニュースが出たんです。その前から方向線は下を向いていて、ここから一気に下げてるんですよ。ニュースは後から出たんですよ。



下降波動に入ったのは、だいぶ前から入ってるわけですよ。ここでニュースが出てきて、この辺で何か噂的なものも出てきたんですよ。それで一気に下げてるんですけど、その先に、この方向線は下降波動にはいていた。

次、今度はビッグカメラ、コジマを買収というニュースが出ました。これも2012年5月11日です。2012年5月11日これなんですよね。



ビッグカメラ、コジマを買収ということなんで、業界代2位になるというポジティブな良いニュースですよ。でもコジマはどうだったかという、下降波動に入っているわけですよ。方向線は下を向いているわけです。なので株価の性質で言えば下に膨らんで戻ってきたところなんです。

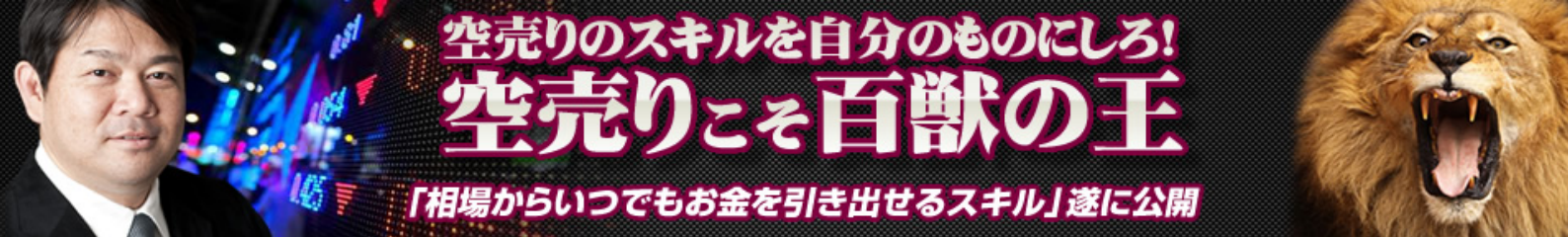
ということは、このニュースを聞いた時に、多くの一般の素人の投資家は飛びついたんですね。飛びついてコジマ買ってるんです。でも波動は下を向いてますからこれ株価の性質です。

下に膨らんでまた戻ってまた下に膨らんでいくわけですよ。ということは、ここで買うということはこのノウハウを知っていればあり得ないです。

ここは積極的に空売りを仕掛けていくポイントになるんです。

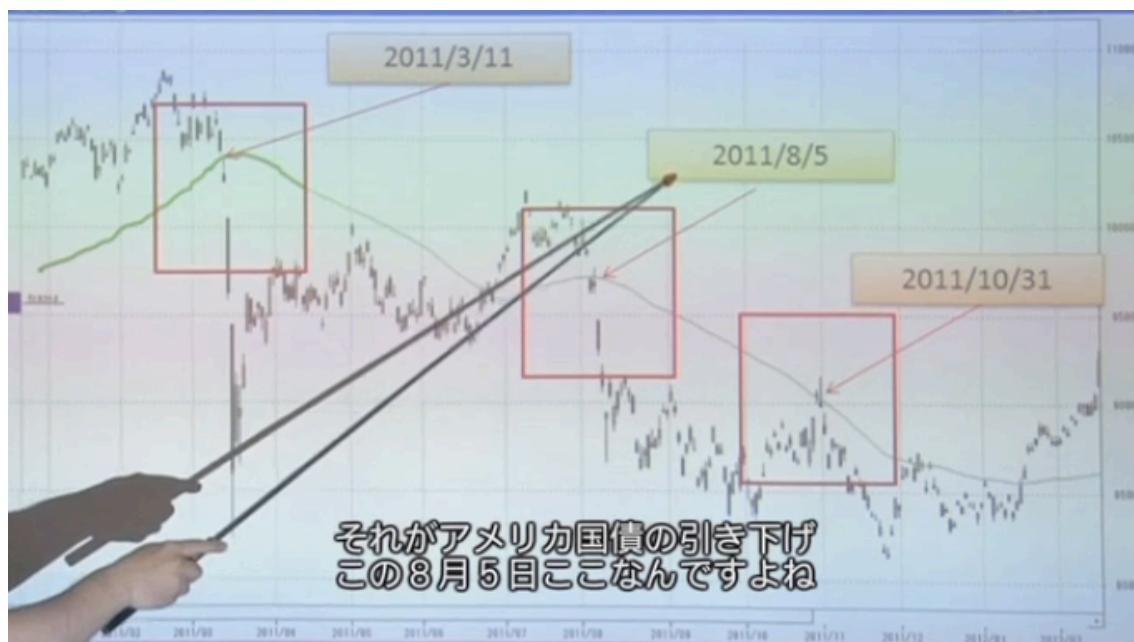
※ 詳細は動画でご確認ください。

<http://www.kamex.jp/izumi/j/?p=48>



基本的に良いニュースが出たって、方向線が下を向いてれば、やっぱり下に膨らんでいって、かなり強い下げを食らってますよね。こういった銘柄はもちろん空売りするとおいしい銘柄になるわけです。

それから今、個別銘柄をちょっと見ましたけども、これは日経平均にも言えます。まず米国サイドの格下げ。スタンダード&プアーズという格付け会社が、米国サイドの格下げをAAAからAA+に引き下げたと。これも結構大きなニュースで2011年の8月5日に出ましたね。これも記憶に新しいかもしれないのですが、日銀が指値介入という今までやったことないような日銀の介入がありました。これが2011年10月31にありました。



それがアメリカ国債の引き下げ。この8月5日ここなんですよね。この日、日経平均の方向線は上を向いてました。ただ株価が方向線を割り込むと、一時的に下降相場に入ります。これを見てください。下に膨らんで戻って来るんですよ。これもさっき言いましたよね。



10月31日これ日銀介入です。日銀介入、失敗したんですよ。これに入ってきて方向線に従っていれば、ここは空売りのポイントだったんです。それで下に膨らんで戻ってくる下に膨らんで戻ってくる。この株価の性質を繰り返しということが言えます。

なのでニュースは後から出てくる。そして株価は需給で動いているんで、この株価の性質というのは、基本的にこれを裏切らないで動いていくわけですね。大きくこれが分かっているれば、どこで売ってどこで、買い戻して、利益を上げるのか見えてくると思います。

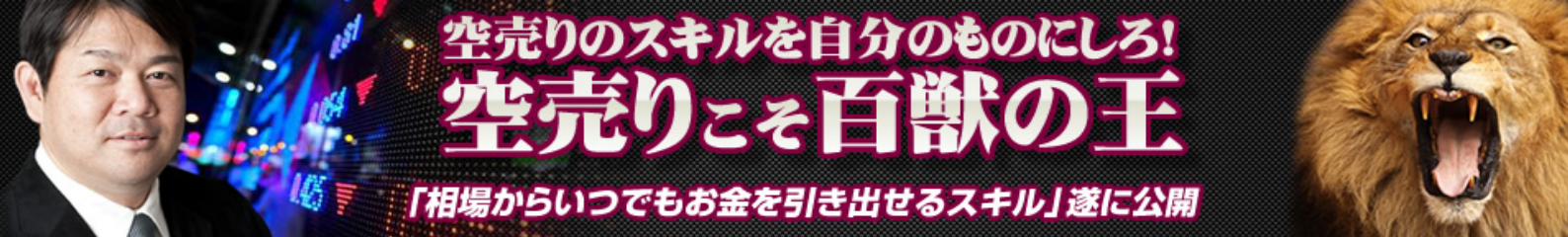
【損失を限定されるポイント】

それでは今、株価の性質とか方向線とか言う説明しましたけども、損失を限定させるにはどうしたらいいのか。そうは言っても違う動きをする場合もあるんですよ、株なんで。

100%株価の性質に従って、100%動くかと言え、100%ではないわけですよ。では、その時どうやって実際にリスクヘッジをしているのか、というのを基本的なやり方というのををご紹介します。

まず方向線があります。方向線が上を向いているときは株価の性質は上に膨らむわけですよ。なので方向線が上向いている時は、方向線の下から上に抜けたら買うというルールが1つ。

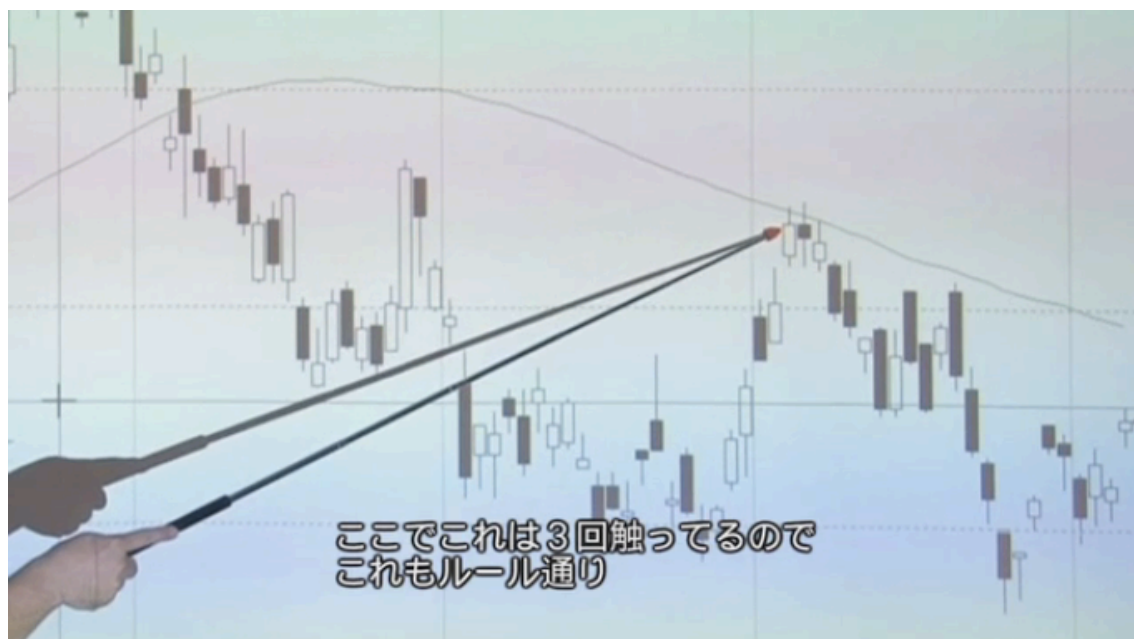
逆に今度は方向線が下向いている時、下向いている時は、方向線を上から下に抜けたら空売りする。これもエントリーのルールです。



今、売りと買いのルールですよね。これはリスクヘッジにもなっていたわけですが。今度は伊藤忠商事。



これも、ずっと方向線が上向きだったのが、この辺から横ばいになって面白いですよね。ここで完全に下向きになっていくと。ここでこれは3回触ってるのでこれもルール通り、



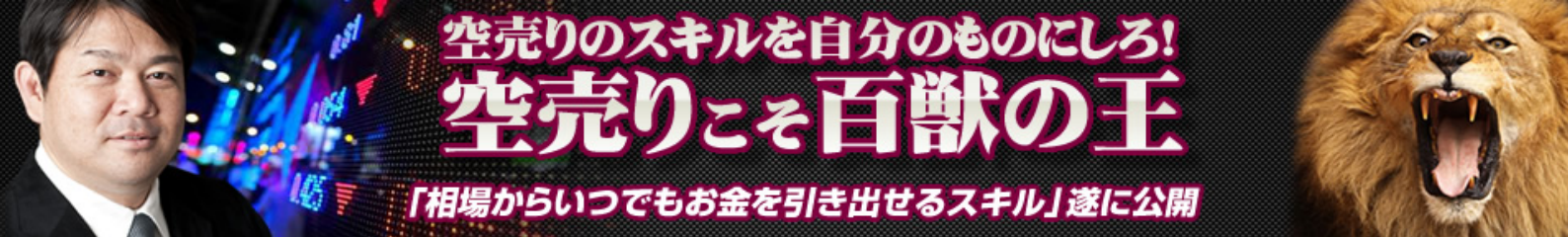


上から下に抜けたので、ここで空売り、翌日下から上に抜けたので買い戻し、そして翌日また売ると、これを3回繰り返せば、その後のトレンドが取れます。

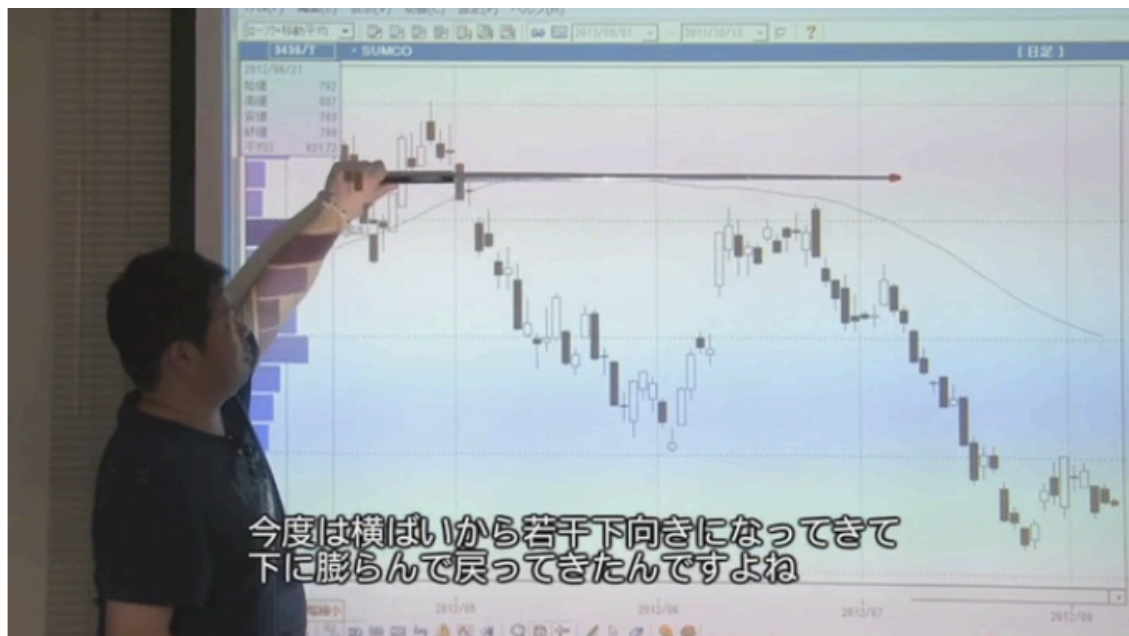
もう感のいい方は、このシステムの肝はここだなということが分かったと思います。それは何かというと、**方向線が下を向いてる時に、当たった目柄を空売りして、そして翌日、上に抜けたら、これロスカットに見えるんですけど、実はこれ利益確定なんです。なぜなら、方向線が下を向いてるからなんです。これまっすぐ横向いてたら、同値撤退。同じ値段で撤退することになって、上向いてたらロスカットになると思います。ということは方向線が下向きなのに空売りをするとということが最大のリスクエッジになっている。**

この簡単なルールを皆守れないのは、なぜかということ戻ってきた時に、結構重要で何かいいニュースがでたりしてるんです。だから、株価の性質を忘れてしまって、これがどんどん上に上がるんじゃないかと、思い込んでしまうんですよね。これが情報に振り回されてるんですね

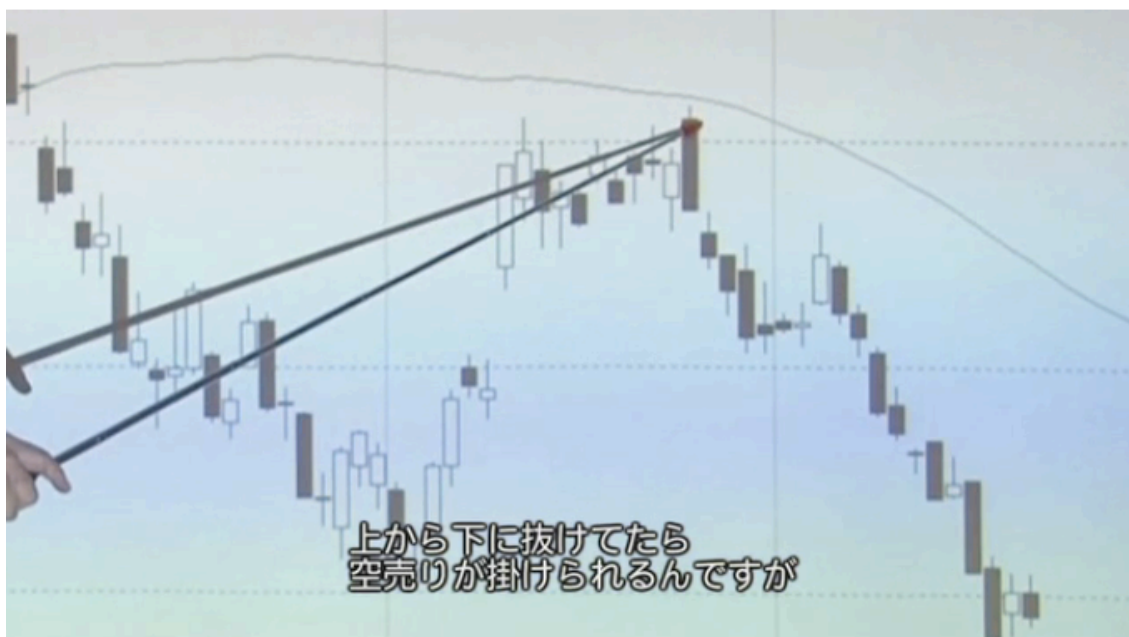
ここで千載一遇の空売りのチャンスなんですけど空売りしないんですよ。今度下がっていった時に気づいて、やっぱりそうだった、やっぱり方向線下に向いて下に下がって、気づいて空売りすると痛い目に遭うわけです。エントリーが遅いと、戻った時にロスカットになってしまうわけですね

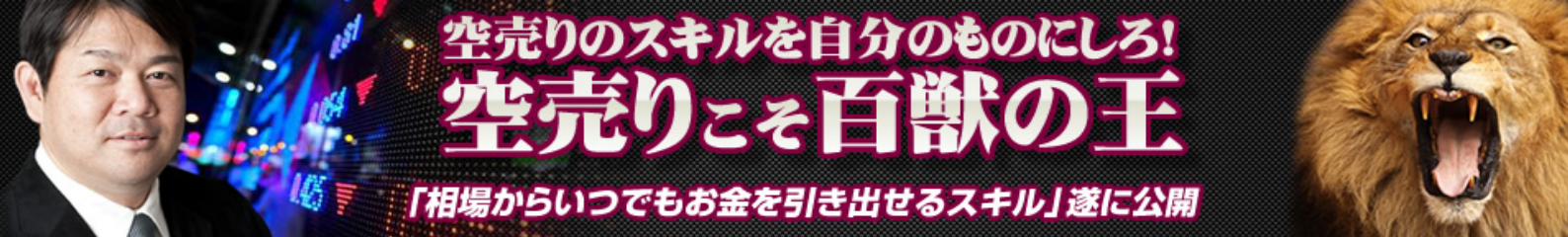


今度はちょっとSUMCOという銘柄を見てほしいのですが



今度は、横ばいから若干下向きになってきて、下に膨らんで戻ってきたんですよね。今、売りと買いのルールは、これ上から明日に触ってたら、上から下に抜けてたら空売りが掛けられるんですが





でもこれ触ってないですよ方向線に、

方向線に触ってないので、今言ったこのルールでは

空売りを仕掛けられない。ただこれやり方がある

こうやって近づいて行って、どうやってその売買したら良いかというのも講座の動画の中で解説してます。これは方向線の近くのタイミングで空売りして、今度は買い戻すルール。

買い戻すのは方向線に戻って来ないと、買い戻しは出

来ませんでした、方向線に戻らなくても最大限に利

益を確定させる方法があります。





空売りのスキルを自分のものにしろ! 空売りこそ百獣の王

「相場からいつでもお金を引き出せるスキル」遂に公開

2、3の指標を組み合わせて、利幅をとったり、リスクをコントロールしたりという仕組みが作れます。

泉式空売りのノウハウは、その組み合わせの形を覚えるということなんです。

本日、最後に重要なお話をしたいと思います。

なぜ空売りをやるのか？これは独特な手法なのですが、株というのは多くの人が言うように、会社の株なわけで、それがどんどん上昇していかないと、日本の国のためにならないという考え方も結構あると思うのですが。この空売りはそれと反して売ることを教えているわけです。

でも、この空売りというシステムがなければ、日経平均や株価が暴落する時に歯止めがかからないわけですよ。要するに空売りをしている人がいないと、この暴落にストップがかからない、要するに買い戻しがかからないわけですよ。買い戻しが暴落をストップさせる。暴落のストッパーでもあるわけですよ。というわけで空売りは重要な役割を果たしています。

僕も、長年株を人に教えている立場なので、いろいろな人をみてきたんですけど、苦しんでる人もたくさんいますね。株は苦しんでやっちゃいけないと思うんですね。楽しんでやらないといけない。



苦しんでやっている人は大きな損失を被っているわけですが、
その人達の多くは、株を買いしか知らなかった。

知らなかったんです。それを乗り越えるには、僕もそうでしたが多くの損失を被った時には、「下げ」、

大きな暴落をどうやって

利益に変えれば良いのかなんです

要するに下げたときを利益に変えることが出来れば、また買いで入れるわけですね。そうやって両サイド、両方のスタンス、買いと売りのスタンスを両方覚えることによって、相場で継続的に利益を出し続けるということが可能になってくるんです。

このスキルは、パソコンひとつでできるわけです。どこにいてもできるし、どの時間帯でもできます。ネットが繋がっていればいつでも注文が出せます。

ですので、これからこういう知識、金融知識を身につけることによって、今後生活していくうえで一生の財産になると。

そういうことで、一生の財産を手に入れてほしいです。



「一番弟子が明かす空売りのポイント」

大場：

みなさん動画の方を観られてきたと思うのですが、泉さんのすごさ、理論のすごさというのを動画を観て、だんだん伝わってきているのではないかなと思うんですけども。酒井さん株をやってどのくらいですか？

一番弟子 酒井：

私は株自体をやっていたのは、これで10年目くらいなのですが、泉さんと出会って空売りを教えてもらって、本当に本格的にやり始めたのは6年前くらいですね。

その前は自分で研究していろんな本をたくさん読んで、結局買いで入るということで株をやっていて。大場さんもそうですね？

大場：

僕もそうですよ。元々情報材料を集めるの大好き。常に、なにかないかと。そういう情報材料が出たらすぐ飛びつくという、典型的な負け組、**やってはいけないことを、すべてやってきた投資家**でしたね僕は。



一番弟子 酒井：

これは泉さんに出会って、その材料を買って高値を掴んでいる人たちが、言ってみれば当時の僕らですよ。そこが**ボーンと損失になっているところを、そこが美味しいんだよ**と言われた時は衝撃でした。

大場：

衝撃でしたよね。僕は本当、株というのは買うものだと思っていましたから。本屋さんへ行ってもそうですが、株は買ってどう儲けるかとか、そういった本はたくさん出ていますけれども、空売りに特化した本はほとんど見たことがないじゃないですか。

そういった売りという手法があるのだと。**みんながもう駄目だとパニックになって投げるところ、そこを利益をとっていくという。暴落をボーナスに変えてしまう**。泉さんに始めて空売りのことを聞いた時はびびびびと衝撃が走りましたね。

一番弟子 酒井：

今まで負けていた分が全部とられていたんだみたいな。空売りの立場をとっている人たちに。びっくりしたのと、本当に自分もその側に回りたいなと思いましたね。

泉さんに会った時に最初に印象的だったのは、**相場には重力がある**と言ってね。これは本当に上手いと言うか、そうだなと本当に思うんですよ。やはり買っていく時というのは、お金が要るじゃないで



すか。どんどん高くなればなるほどお金をたくさん入れて、買って
いかなければならないじゃないですか。

大場：

パワーが必要ですよね。買い支えていくというのは。

一番弟子 酒井：

ガソリンをすごい入れるようなものですよね、坂道を上がるには、
それがちょっと気を抜けば、株価なんてストンと下がるのだと。結
局それは重力があるのだと。力がかからなければ、株価というのは
重力が下がるのだと聞いた時に本当にその通りだなと思って。

大場：

これは色々個別銘柄もそうですし、日経平均も過去のバブル崩壊以
降のチャートを見て頂いても、みなさんお気づきになると思うので
すが。

やはり上げる時というのは時間がかかるわけですよね。みんなが買
っているわけですから、買う人が多いわけですよ。株式相場という
のは昔から変わらず。どうしても買いって怖いんですよね。

株価が下がるのが早いので。上がる時もちょこちょこ上ったり下
がったりちょこちょこ下がり上がりながらじゃないですか。買いと
いうのは結構難しいんですよね。

株というのは下がりだすと、一気にトレンドが出るというね。やは
りそれには重力が働いているということと。



空売りには騙しが少ない。その言葉を泉さんに聞いた時に僕は衝撃的でしたね。

一番弟子 酒井：

下げ始めると一気にいっちゃうっていうね。イメージとしては山に登っていくみたいな感じで。登る時は急じゃ登れないんですよ。ゆっくりゆっくり登っていくじゃないですか。ある時に突然崖があつて突然崖から落下するんですよ。そういうイメージですよ。

行く時はどすっと一気に行ってしまうので、上で取り残された高値を掴んだ人たちは、みんな損するし、そこで投げ売りというのが出るのでその投げ売ったものを拾っていくという空売り。そこを利益に変えていくというところがたまらなく楽しくなるわけですよ空売りは。

大場：

もちろん株は、買いも売りも両方出来るわけなので、両方やるのが良いと思うんですけども、考え方としては株はビジネスじゃないですか。買いは月々の給料みたいなね。

年に何回か暴落というのがあるわけですよ。その暴落をボーナスに変えていく。そこは買いしか知らないと、要は空売りを大きく下げるところ、ボーナスを叩き出すことが出来ないわけですね。

空売りという手法を学んで実践して、相場からがつつり取っていくということをやっていかなければですよ。



一番弟子 酒井：

やはり利益をぐーっと伸ばすには空売りということになると思うんですよね。

スプラッシュとかね。

大場：

スプラッシュね。下にこう行くやつとかね。スプラッシュね。空売りのスプラッシュなんてたまらないですからね。

一番弟子 酒井：

崖から落下していくのを全部とっちゃうみたいなね。

大場：

本当に滝のように落ちていくといんですか、ダーっと一気に落ちる勢いで下げていきますからね。

一番弟子 酒井：

僕もあれはやはり衝撃でしたね。

あとは買いの場合**上昇相場の場合は、メディアがどんどん煽ってくる**んですよ。株は良いですよとか、買った方が良いですよって。昔は、やはりそうやって新聞や雑誌を見た時に買った方が良いんじゃないか。自分だって乗り遅れたくないって思うんですよね。なんで俺だけ株をやっていないんだとか買っていないんだという気持ちになるとどうしても買いたくなるんですよ。買いたくなってその時は



気持ちよく買うのですがそれが一番高値だったりして、その後ドカーンと下がってやられてしまうということが多々ありましてね。

逆に空売りが出来るようになると、そういうポイントで空売りに入っていくっていったりとか。メディアが騒いできたな。もうそろそろチャートの形が見れるようになってね。この形が出て来たら、もうそろそろ来るんじゃないかってことが分かるようになって。それで入っていく。とくに**マウントトップの売り**って言ってね。

大場：

マウントトップの売り。これは衝撃的ですよね。マウントトップの売り。結構、方向線が上向きの方は上に膨らむわけですよ。方向線が本来の価格なの、でいずれ株価というのは方向線が本来の価格に戻る動きをしてくると。やはり質問で多いのは、**方向線が上向きの時、頂上で空売りは出来ないんですかと。実はそれはできます。**

それがマウントトップ売りなんですよ。

そこを捉えてその上から空売りを仕掛けていくという。そしてさらに、方向線が横を向いた時にも、追撃で下を向いたらガンガン売りにでて売り込んでいくという。そのへんがマウントトップの売りですね。あれは泉さんにノウハウを聞いた時はこれはすごいなと。

一番弟子 酒井：

これが楽しいんですよ。この下がるぞって瞬間が分かるというのが。



大場：

今酒井さんが言った下がる瞬間が分かる。株というのは上がりだす瞬間と下がりだす瞬間。この2点のみに集中してトレードしていくというのが大事なのですが、買いしか知らないと、やはり上手いかないんですよ。

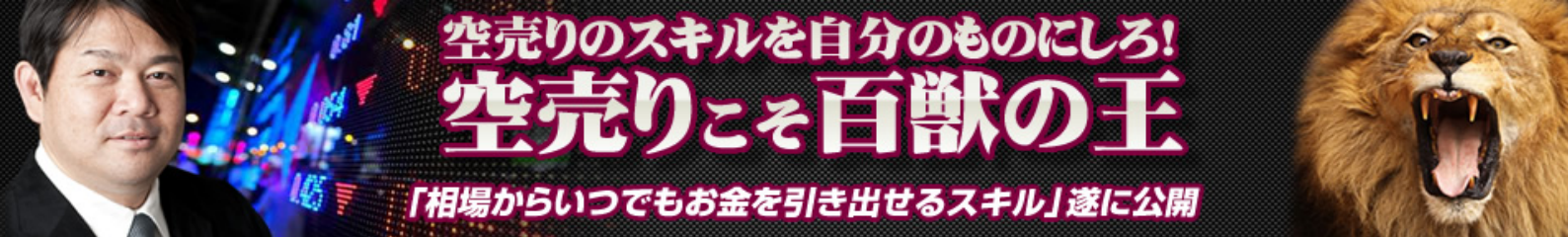
株というのは買い方売り方この2種類しかないわけなのですが、実は、売りを知ることによって買いも上手くなるんですよ。この話というのは先ほどのマウントトップの話に繋がるのですが、方向線が上向きの時に買っていました。どこかで利益確定させますよね。売りを知ることによって、これはもう下げるなと。下げる形になってきたなというのがもっと今以上に分かるようになるので。実は空売りを知ると、買いも上手くなるんですよ。

買いで入っていてマウントトップの形になってきた。買いは一旦利益確定。その後にマウントトップの空売りをがつつり狙っていくということが出来るようになるので。これは是非マウントトップの売り、これはみなさんに実践して欲しいですね。

一番弟子 酒井：

上で結局天井で利益確定して、天井から空売りするみたいな。これって結構プロのやり方ですよ。プロは実際本当にそうしますからね。買い上げといて上で逃げ切って空売り入れてそこで売り込むという。そこでどーんと株価を下げさせたところで買うという。それがプロの仕掛けというやつですからね。

大場：



僕らはそのプロの仕掛け。プロの大量の資金を動かす人たちの金の流れを読み取って、そこについていくということを常にやっていないとです。

あとは、これは僕が泉さんに空売りを教わって思ったことなのですが。株というのは上がったたり下がったり、波を打ちながら株価というのは上下するわけですよ。買いしか知らないと要はこの上昇局面しか出来ないわけですよ。要は片手で戦っているようなものなんですよ。でも空売りをすると要は下げ相場。株価が下降に転じる瞬間。

そこに今度は売りという、空売りで入ることが出来るわけですよ。両手で戦えるわけですよ。なので、空売りを知ると正直言いまして日経平均が、上がろうが下がろうが、個別銘柄が上がろうが下がろうが、あまり気にならなくなるんですよ。動いた方向についていけるようになって。やはりトレードをやる上で大事なことは、買いなら買い売りなら売りでどちらかに偏るのではなくて、常に自分をニュートラルなポジションに置いておいて、上がり始めたら買えば良いんですよ。下がり始めたら売ると。常についていける体制を整えられるということが。スキルを身につけるということが大事ですよ。

相場をマスコミなどは言っていますが、そういう情報に流されず冷静に売りを知ることによって、今まで以上にチャートをよく見れるようになって動じなくなりますよね、ブレないというね。

一番弟子 酒井：

このブレないというのも泉さんに教えてもらいましたよね。結局教えてもらったのは、トレードのスキルとそれに合わせてトレードのメンタルというね。泉さんはニュースとかも全然見ないですね。



見ないでどうやってやるかと言うとチャートだけ見てやる。逆にチャートだけを見た方が、良く儲かるんだということを体感させてもらった。

大場：

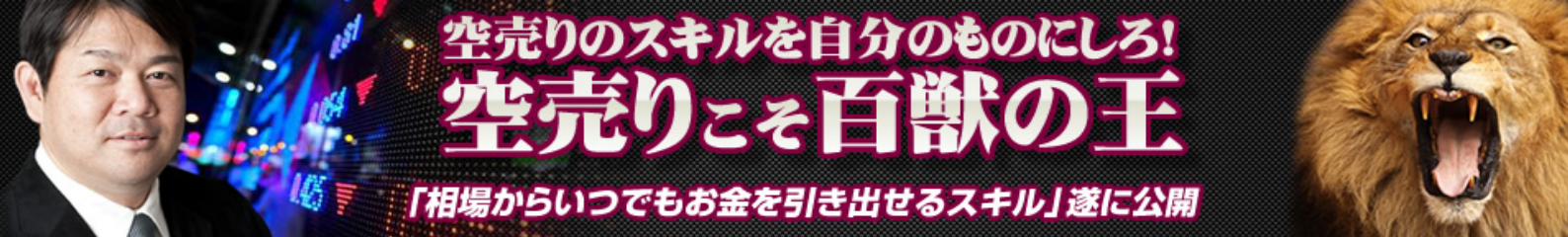
本当にそれはその通りですね。僕は泉さんに教わって、最初は買いから入って、その後空売りをがつつり教えていただいてですね。僕は始めて経験した暴落というのは、ライブドアショックだったんですよ。有名ですよ。あの時はライブドアショックの時も、ああいってニュースが出たのですが、ニュースが出る前からライブドアのチャートももちろんそうですよ。日経平均のチャートもそうですよ。やはりあれですよ。

マウントトップの形になってきていたわけですよ。なので、僕はそこで、すかさず何のニュースが出るとかこれは個人なので全然分からないですよ。やはりチャートを見ていて、これは下がる形になってきたなと。買いは全部逃げなければと、ということで僕はライブドアショックの前に買いを手じまいして、これはマウントトップだなと。空売りを仕込まなければと。

始めて空売りでどーんととらせて頂いたのがライブドアショックなんです。その後に上海発の世界同時株安が出てきて、とどめのリーマンショック。ギリシャ問題、欧州発。

一番弟子 酒井：

あれは年間に何回か何とかショックで暴落する局面ってあるんです。



大場：

やはり震えますよね。きたと。

一番弟子 酒井：

下げる時は本当に早いのですからね。早いんですよ。

大場：

やはりチャートはまず先にそういう知っている人がいるわけですよ。そういったニュースが日本や世界に流れる前に。お金を持っている人たちにはそういった情報が伝わる。その人たちはその情報が出る前に売り逃げる。これが**チャートに出てくる**んですよ。

一番弟子 酒井：

よく増資のニュースがあるじゃないですか。株をもう一回発行して会社を大きくしようということでそういうことを企業がやると。そうすると株価がこういった反応をするかと言うと暴落しますよね。

増資をするよというニュースが出た途端に一気に暴落するんですよ。出た時に売っていたのでは遅いんですよ。不思議なことにあらゆるチャートを見ると増資のニュースが出る暴落する直前に、方向線割ったりだとかあるんですね。

大場：

それは僕はちょっと前の話なのですが、その増資の話で印象に残っているのが全日空ですよね。全日空の方向線を割り込んでからの凄



まじい下げが、それが増資のニュースが出て大きく下げたんですけれども。その前にやはりチャートに形となって現れてきているわけですよ。

それで後からニュースが出る。そういうところをいち早くチャートで捉えてそして仕掛けてニュースが出たらドンと買い戻すみたいなの。

みんながパニックになって投げたところを戴きますみたいな。

一番弟子 酒井：

空ってって飛んで下から始まりますからね。ああいうのは取れると美味しいですね。上がる時はギャップアップと言うのですがボーンと言うより、上げるというのは稀でドカンと下がることの方が多いですよ。あれは取れるとやはり一番美味しいし。そういうところが空売りは一番美味しいかなと思うんですよ。

大場：

本当に、情報材料を遮断してそういうのは、やればやるほど分かりますよ。僕はやってたことは空売りを仕掛けますよね。大きく下げて、利益を買い戻してとるじゃないですか。後から新聞とかを見るんですよ。そうすると、やはり悪いニュースなどが出ているわけですよ。またチャートを見ると、やはりチャートは先に織り込んで動いているんだなというのがすごくよく分かるので。

何か悪いニュースで株価を下げた銘柄などもチャートを見て検証するということを是非やって欲しいですね。そうすると増々チャートってすごいなと情報材料は要らないなと。



上がる瞬間、下がる瞬間、この2点のみに集中してトレードしていけばいいんだということが、もっと深く入ってきますからね。美味しいですよ。

一番弟子 酒井：

僕は泉さんからずっと、空売りを教えてもらってやりながら、自分で1人でやっている時は、それでもやはり人間なので少し悩んだりする時も、ずっとやっているとおあるわけですよ。

そういう時にメールで相談をさせてもらった時とかは、最初に言った不変の心理という株価の性質で動くチャートになりやすいんですよ。波を打つというね。波を打ちながら戻ってきたところをまた叩いてですね。売り叩いてね。戻ってきてたら売り叩いて。戻ってきて叩いてというのを何回もバウンドしてやるというね。これが効いて利益がそこでぐーんと伸びてきたというのがありましたよね。

大場：

僕が泉さんに言われたことは「目をつぶって売るんだ。」と、チャリンチャリンと貯金箱のように。何回も鳴るんですよ。何回も鳴りますからね。

そういうところも考えながらまた見てトレードをしていくとさらに相場からがっつりととれるようになってきますよね。

これは面白いですよ。これはぜひみなさんに伝えたいですよ。チャートを見ながら。ここはちょっと裏技だと思うんですよ。実際



チャートで勉強するというのは基本なんですが、**基本プラスちよっと応用じゃないですがコツ**というか**そういったポイントを覚えていくと利益がぐっと伸びる**ところが出てきますよね。

「一番弟子 酒井×泉幹 対談」

酒井：

〇〇ショックみたいなものがあって、それで結構バンとなくなってしまって、投資をやめようかなと思った時に、泉さんがいましたね。

正直、衝撃だったんですよ。何が衝撃かというと、チャートで見せてくれたんですよ。1個1個動かしながら見せてくれたので、

「あ、本当だ！」

そこで衝撃がかなりあって、そこで多分即日に入ったんです。それで、最終的に空売りのことを泉さんに教えてもらって、それから売りをやりはじめましたね。僕が入った頃は、**上昇相場で上がっていた時なんですけど、ちょうどその下降の線を割るところに入るところで、それで、空売りを勉強していたので、すぐに売りに入ってそこで利益が出た**ので、泉さんに会ったら、いや俺売りしかやってないからと言われて。



泉：

買っちゃダメと言って。株は買っちゃダメだと。

酒井：

すごい言われましたね。一番印象に残ってるのは、やっぱりリーマンショックの時ですね。ニューヨークは起きてみたら、-1000ドルとかで、やっぱり、あの時は完全に下降のチャートなんですよ。本当にちょうどサブプライムがあってドンと下がってから、ちょっと上がったんですよ。上がってる時に、泉さんに言われたのは、その下がってから上がるところで売るんだよというのを。

泉：

サブプライムきて、ぐっと戻した時にね

酒井：

ぐっと上がった時に売りのポイントに来てたので、そういうものを仕掛けていたんですよ。仕掛けていたものが下げはじめて、段々下がって行って、リーマンショックみたいに、ニューヨークが下がって、その時は初めて大勝ちしたという時です。

泉：

1番おいしいパターンですよ。

酒井：



だから売りのパターンに入って尚かつニューヨークも下げて
リーマンショックのようになって

泉：

なぜか戻すんだよね

酒井：

その前にちょっと戻ったんですよ。それで売ってドンと下がって、
うわってなったのが多分1番大きい利益で、その時に持ち株が全部
下がって全部利益になって。それで買い戻して、利益になって、ち
ょっと嬉しくなって、僕はその時の記念にこの時計を買ったんです
よ。

久々にそういうのがあった時に、売りで入ったから売りやっとい
てよかったなと。

泉：

世の中の人、コツコツ株は買うものだという固定観念があるから、
株を買ってコツコツ利益を積み上げていく。でも、そのなんとかシ
ョックとか世界同時株安とか、そういうので全部なくなるわけす
よ。

空売りという手法を知ってないと、その暴落を利益に変えていかな
いと空売りしてる人はそこ全部利益な訳ですよ。



これおいしいよね。これやらないとやっぱり株やってる意味がない
というか、暴落を利益に変えられないとね。

僕がどんなに売りが有利ですよと言っても、その筋の経緯がある人
たちとか、市場関係者が皆、株は買ってくださいうから、大多
数が買い続ける大多数が損してるんですよ。

**大多数が買ってる、そして大多数の人が負けて
るわけですよ。少数の人が儲かっていて、空売
りする人は少数なんですよ。空売りをやってる
人たちが勝者になっている**ということになる。

でも世間一般的に株は買うものとなってるから、がら空きの相場が
あるんですよ。がらがらで誰も。入って来ない

ほとんど入って来ない、そこにがら空きの相場があるので、ある程
度、埋めていったところでバランスは崩れないんですよ。

市場関係者は株を売ってください、となんか絶対に言わない。皆基
本的には株は買ってくださいう、ということしか言わない。これは何
でかという、市場のマーケットの構図というものがあって、個人
投資家は買ってくださいう、機関投資家っていますよね。機関投資
家は買いも売りも出来るんですよ。もちろん個人投資家も買いも売
りも出来ます。でも皆その発想がない。でも機関投資家は買うとい
う発想もあるし、売るという発想もある。



要するに値下がりすると儲けるという頭を持ってるし、やり方もわかってる。だからたくさん個人投資家が株を買ってくれると、機関投資家が儲かりやすくなる。

では、個人投資家は、どうすれば良いのかというと、

**売る側にならないとやっぱり勝ち組になる確率
というのは下がっていきます**

やっぱり買いばかりやっていると、負け組になってしまう。

ではそれを僕らがどうやって、判断するのかというとチャートを使うわけですよ。株価チャートをどう使うかというと、何か変な計算をするわけではなくて、**指標の良いところを組み合わせ**

せて形で見るんですよ。

要は需給バランスというのが崩れたところで、上に行ったりしたに行ったりするんですよ。売りたい人が多ければ下がるし、買いたい人が多くなれば上がっていくわけですよ。この需給バランスが、どこに出て来るのかというと、株価にしか出て来ないんです。

例えばニュースとか企業業績とか、材料とか集めてきても、じゃあ750円で売りという、この値段が出ないんです。どうしても出ない。どう考えても出ない。書いてないし、自分で適当に売るしかない。



テクニカルチャートでやると、747円で売りという明確な数字が出る。数字が出るからそれに従って売れば良いだけ。

株自体が怖いという人がいますよね。なんでかという。無限に負けてしまう。自分の資産が全部なくなるんじゃないか、家ごとなくなるんじゃないかとか、こういった迷信がありますよね。株やって家がなくなったとか、なくならないですよ。それは何でかという。損失を限定するトレードの方法を知らないんですよ。

宝くじは、なぜ買うでしょう？

酒井：

結構いろんな人が買いますよね

泉：

でも宝くじ怖いって人いますか？

酒井：

いないですね。



泉：

あれは宝くじは皆買いますよね。なぜかという損失が限定されているんです。1枚300円ですよね。10枚買っても3000円ですよね。外れても損は3000円と確定してるじゃないですか。だから健在意識の中では、億儲かる夢があって、負けても3000円と思ってる。

実は株もそういった発想でトレード出来るというのを皆知らないんです。そういうやり方がある。だから、よく言ってるけども、株はビジネスになるんです。損失が限定出来るから。

一番損失を限定しやすいトレードというのが実は空売りなんです。リスクコントロールがやりやすい。

そして、空売りはやっぱり儲かる。

株は結局、人がやってることでしょう。人がやって売買してるから人間の動きで、例えば何か知らないけど、12時になったらご飯を食べにいくんですよ皆腹が減ってなくても。腹が減ってなくても、12時とか1時になったら昼飯を食べないといけないと思ってしまう



んです人間は。それって習慣ですよ。だから朝8時くらいに起きて夜遅くても12時くらい寝るというね。なぜかそういうリズムがあるんです。夜中の1時に起きて朝の10時に起きる人ってあんまりいないんです。それレアケースでしょう。いますけどねそういう人も。でもレアでしょう。

だからほとんど同じような動きを習慣的にやってるということは、

株というのは人がやってるから、株価にもそういう習慣がある。

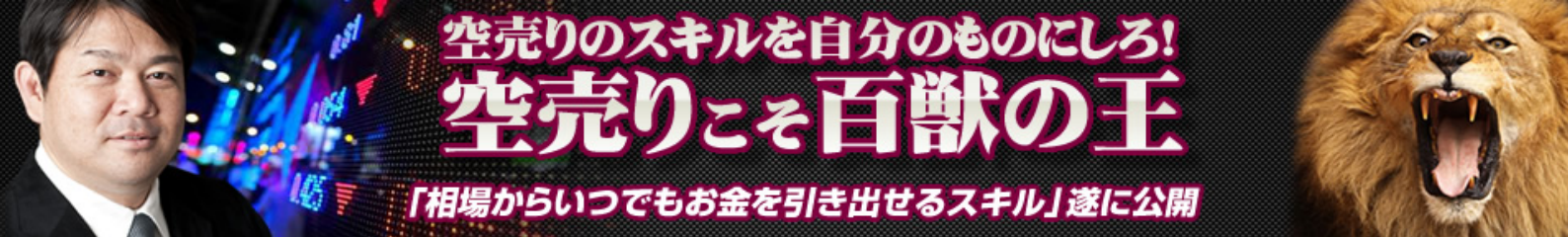
やることは本当にシンプルなので、そのシンプルなことを信じてやり続けることが、一番難しいかもしれない。ただ優れた仕組みというのは、ビジネスでも何でもそうなんですがシンプルなんです。

酒井：

複雑なものが良いという気がしてしまうんですよ。いろんなボタンがあったり、パソコンでもいろんな機能があった方が良いような気がするんですよ。でも結局使わないんですよ。

泉：

いろんな機能があれば、ある程わからなくなるから、



酒井：

こんな分厚い説明書なんかを、渡されると嫌になっちゃいます。

泉：

ピッピッピと触って一番わかるものがないわけですか。だからシンプルなものが一番良い。シンプルなもの程最強なんです。

空売りは誰でもできるし、儲けやすい。

それともう1つは今度は空売りをマスターすると買いがうまくなる。なぜかというとながっていく形がわかるわけでしょう？下がっていく形の銘柄は絶対に買わないでしょう？だからそういった

買っちゃいけない銘柄も本当に

数秒でわかるようになる。形で見るから。

酒井：

いろんなニュース見てもチャートで、下げる形をしていたらやらないと。

泉：

だから買いで失敗することも少なくなっていくんです。株はパソコン一つあれば、どこでも出来ますから、別に家にいなくても出来るし、その辺のカフェにいても出来るし、海外に行っても出来るし、体を使わなくても出来るわけなので、一生のスキルですよ。



自由になるスキルです。

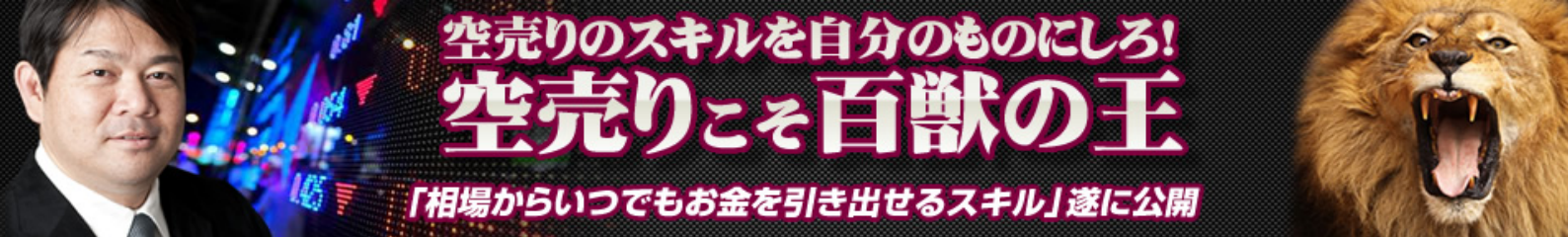
酒井：

泉さん、株をこれから空売りをやるにしても成功しやすい人というのは、どんな人なんですか？

泉：

成功しやすい人は、この空売りの手法はシンプルなんで、シンプルにルール守って出来る人。だから、おそらく今までいろんな人を教えてきましたが、やっぱり初心者というか、あまり他の知識がない人は、非常に入りやすくてこれしか知らないんで、ルールを守ることやそういったメンタルコントロールが早く出来るので早いね。

逆に今までいろんなトレードやってきて、成功したり失敗したりを繰り返してる人は皆知識があるので、入りすぎてるのでこの空売りの手法を聞くとぽかんとする。そんなので儲かるわけないよねというクエスチョンマークがまず頭の上に出るわけです。シンプルすぎて。だからそれを脱却していくのにある程度、何回も繰り返して聞くというのが必要かもしれなですよ。すばっと切り替えられる人はすぐ結果が出てきます。



次回の動画は
「極秘プログラム公開」